

**2012年アジアベンチプレス選手権大会
83キロ級 優勝**

石本 直樹さん(神戸)

9月にカザフスタンで開催された「アジアベンチプレス選手権大会」のマスターII(50~59歳)部門、83キロ級で優勝した石本さん。

今回は、日本選手団の団長や大会審判員などを務めながらの参加となり、体調の調整など何かと苦労が多かったそうです。「応援してくれた全ての皆さんに感謝しています。2年連続で優勝できとてもうれしい。次回は世界記録220.5キロをあげられるように頑張りたい」と早くも次の目標を見据えていました。



収穫を喜び、伝承細工を教わる

ほのぼの交流・収穫祭

10月6日、阿波小学校で行われた世代交流を深め、秋の収穫に感謝する交流・収穫祭に阿波地域の幼児や小学生、お年寄りたちが参加しました。

小学生が、お正月用のしめ縄や、雑煮の餅を温めるとき鍋底に敷く“す”の作り方をお年寄りから教わりながら上手に作っていました。

また、収穫したサツマイモを使った豚汁とおにぎりを食べて、秋の収穫を祝いました。



大正浪漫が漂う城西

津山・城西まるごと博物館

10月7日、城西地区一帯を会場に城西まるごと博物館が開催され、多くの人でにぎわいました。

作州民芸館では、今年、地域の伝統工芸として復活した作州絣の実演コーナー、城西浪漫館では、駄菓子の販売や杉の実鉄砲の体験コーナーなどがあり、昔を懐かしむ大人や初めて体験する遊びに夢中になる子どもの笑顔があふれていました。

また、旧出雲街道には陶器や手芸などの工芸品を売るクラフトの店が立ち並び、多くの人が足を止めて、品定めをしていました。

良い汗かいた、秋の一日

第41回つやま市民スポーツ祭



10月7日、秋晴れの空の下、岡山県津山陸上競技場をメイン会場に多くの市民が参加して市民スポーツ祭が開催されました。

参加者は、リレーやスプーンレース、テコとバケツを使った新種目ナイスキャッチなどの競技に力を合わせて、取り組んでいました。また、グラウンドゴルフやペタンクなどニュースポーツの体験コーナーも多く家族連れなどで賑わい、スポーツの秋を楽しみました。

リレーカーニバルに出場した永江遥さん(高野小4年生)たちは「みんなで力を合わせて走れたのでよかったです。来年は、絶対勝ちたいです」と笑顔で答えてくれました。

若い感性で特産品をよりおいしく

だし活!和風だしを活かした地産地消レシピコンテスト

9月29日、津山東高等学校でかつおやこんぶの和風だしと津山特産の食材を使ったレシピコンテストの最終選考会が行われました。

津山産のショウガやシイタケ、アスパラガスなどをふんだんに使った料理の中には、グラタンやパスタ、カレーといった洋風のものもあり、審査員からは「洋風の料理でも、和風だしの味が後を引くおいしさで、若い感性とアイデアにあふれている」と好評価を得ていました。

上位入賞を得た料理のレシピは市内のスーパーで紹介されるそうです。



左右と後ろも忘れずに

南小学校自転車交通安全教室

9月27日、秋の交通安全週間の中、南小学校で自転車の交通安全教室が行われました。

4年生39人は、交通指導員から自転車の点検の仕方や安全な乗り方を教わった後、実際に自転車に乗って、グラウンドに作られたコースを、一時停止など交通ルールに注意しながら走りまわりました。参加した四方みゆきさんと圓札有柚さんは「つい、左右や後ろを確認することを忘れがちだけど、今日教わったことを守って、安全に乗りたいです」と元気に話してくれました。

衆楽園の観月会

10月1日 衆楽園(山北)



秋の名月を鑑賞する観月会が催され、オカリナや邦楽の調べが流れる中、参加者は時折、雲の切れ間から垣間見える十六夜の月を愛でていました。

男のエプロン教室

10月12日 勝北保健福祉センター



市内の55歳以上の男性を対象とした料理教室に12人が参加しました。献立は、ちらし寿司など。参加者は手際よく調理し、食事中の会話を楽しんでいました。

第7回B級ご当地グルメの祭典! B-1グランプリin北九州

10月20・21日 福岡県北九州市



B級ご当地グルメでそのまちの良さをPRする全国大会。7位入賞した津山ホルモンうどん研究会はおもてなしの心で来場者に文化や味など、津山の良さを伝えました。